

消費税を増税したのに社会保障をまた削減？

消費税10%増税を強行したうえ、次にやろうとしているのは、社会保障制度のさらなる負担増と給付削減です。

安倍総理が議長を務め、関係閣僚や、経団連会長・中西宏明、経済同友会代表幹事・桜田謙悟などで構成する「全世代型社会保障検討会議」の初会合（9月20日）では、負担増と給付削減を求める発言が相次ぎ、その内容が浮かび上がってきました。

医療

75歳以上の
負担増や薬剤
の保険外し

医療では75歳以上の窓口負担増、外来受診定額負担の導入だけでなく、薬局で市販されている薬と似た医療用医薬品などは窓口負担増や保険給付外にしようとしています。

介護

利用料負担
1割を2割、
3割の負担に

介護では利用料の負担増です。今は原則1割で、年金収入280万円以上で2割、同340万円以上で3割ですが、年金収入を改め2割、3割負担の人を増やすことを狙っています。

年金

マクロスライ
ドで、基礎は
将来3割減

国民健康保険料（税）では、国保料値上げを抑える市区町村国保会計への法廷外繰り入れを「早期に解消」させ、大幅に値上げしようとしています。



介護保険の要介護認定は7段階（要支援1、2と要介護1～5）ですが、このうち軽度の要支援1、2の訪問介護と通所介護は、すでに保険給付から外され市区町村の事業に移されました。更に今度は要介護1、2の生活

年金では物価や賃金の上昇に年金が追い付かないマクロ経済スライドを続けます。基礎年金（国民年金）の水準は将来3割減られます。



援助サービスも保険給付から外そうとしています。両方合わせると要介護認定を受けた人の6割を保険給付外にするもので、介護保険制度を根本から崩す重大な問題です。介護保険のケアプランの作成は10割給付ですが、新たに利用者負担を導入しようとしています。

2019年 滋賀民医連

共同組織活動交流集会

*とき 11月23日（土・祝） *ところ 膳所健康友の会かざぐるま会館（旧膳所診）

テーマ「元気の出る、共同組織活動」

しが健康友の会（坂本）・膳所健康友の会、しが健康医療生協（こびらい診・こうせい駅前診）のみなさんが発表します。

学習講演【仮称】

「共同組織活動で地域も事業所もみんな元気！」

全日本民医連事務局長 岸本 啓介